

卒業認定・学位授与の方針 Diploma policy							教職課程	
(1) 建学の精神である「生命の尊厳と隣人愛」に基づいた高邁な精神と高い倫理観と保健医療福祉の専門職者として必要な豊かな教養を身につけている。	(2) 保健医療福祉の専門職者に求められる専門分野の基本的な知識・理論や技能を体系的に理解している。	(3) 様々な立場や意見を尊重しながら、自らの意見を伝達し、説得できるコミュニケーション力を身につけている。	(4) 設定した課題について自らの専門分野や他分野の研究方法を用いて議論し、考察することができる。	(5) 獲得した専門分野の知識・理論や技能等を総合的に活用し、それぞれの人にあわせて課題を解決する実践力につなげることができる。	(6) 保健医療福祉領域において自らの専門性を自覚し、多職種と連携、協働して、その責務を果たすことができる。	(7) 保健医療福祉に関する地域社会及び国際社会のニーズを捉え、専門職として貢献することができる。	1. 教育に関する確かな知識・理論や技能及び豊かな表現力を身につけている。	2. 教育者としてのふさわしい教養を身につけて、使命感と責任感に基づいた確かな実践力を備えている。
一年次	聖隷の理念と歴史 キリスト教概論 キリスト教人間論 キリスト教の歴史 キリスト教倫理 専門職連携の基礎 哲学 文学 レクリエーション概論 音楽 心理学 倫理学 女性学 法学 日本国憲法 経済学 教育学 社会学 現代コミュニティ論 スポーツⅠ スポーツⅡ 人間と健康							
二年次	キリスト教社会福祉 キリスト教保育	地域福祉論Ⅰ 高齢者福祉論 臨床心理学 障害者福祉論 児童家庭福祉論 社会的養護 社会福祉発達史 公的扶助論 就労支援論 発達心理学 保育内容（健康） 保育内容（言葉） 保育内容（環境） 保育内容（表現） 子どもと言語表現 社会的養護内容 ソーシャルワーク論Ⅱ ソーシャルワーク論Ⅲ 地域福祉論Ⅱ	子育て環境論 子どもケアワーク論	インターンシップⅠ 保育実習指導Ⅰ				
三年次	インターンシップⅡ 音楽と身体表現 国際福祉実習Ⅰ 国際福祉実習Ⅱ 国際福祉実習Ⅲ 国際福祉実習Ⅳ レクリエーション活動の実際	器楽Ⅱ 子どもの保健Ⅰ 子どもの保健Ⅱ 子どもの保健Ⅲ 子どもと言語表現 家庭支援論 保育相談支援 児童心理 教育心理学 社会福祉学概論Ⅱ 社会保障論Ⅰ 社会保障論Ⅱ 司法福祉論 社会福祉行政論 司法福祉論 ソーシャルワーク論Ⅳ 医療福祉論 保育内容総論 保育内容（人間関係） 子どもの歌と伴奏 社会福祉経営論 音楽と身体表現 発達障害児の理解	ソーシャルワーク演習Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	ソーシャルワーク演習Ⅲ 福祉計画論 社会調査論 キャリアデザイン	福祉実習Ⅰ 福祉実習Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅳ 総合演習Ⅰ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ 保育実習指導Ⅱ 保育実習指導Ⅲ ソーシャルワーク実習 保育実習ⅠA 保育実習ⅠB 発達障害児の支援	ソーシャルワーク演習Ⅴ	幼稚園実習Ⅰ 幼稚園実習指導 教育課程論 教育制度論 教育方法論	幼稚園実習指導
四年次		福祉レクリエーション論 親支援方法論 絵画と表現 福祉文化論		福祉レクリエーション援助論	総合演習Ⅱ 福祉レクリエーション援助技術 保育実習Ⅱ 保育実習Ⅲ	トップマネジメント論 ソーシャルワーク演習Ⅵ 専門職連携演習		保育・教職実践演習 幼稚園実習Ⅱ